



この力が和歌山国体を成功させる（紀三井寺競技場にて）



栗本義彦氏と語る
（日本体育協会国体委員長）



知事 明けましておめでとうございます。ことは、和歌山国体の本格的な準備の年でもありますので、いろいろおそわ

りながらお話をお聞きしたいと思うのですが……。
栗本 ことしからは、たいへんですね。

だけで、国体のリハーサルにならない場合がありますから、気をおつけになつてください。和歌山の場合は、知事さんが中心になつて、早くから手を打つてこらえているから施設なんかは、だいぶ進んでますわね。

順調に進む
施設づくり
知事 施設はわりあい進んでおります。福井県なんかも相当、既存の施設を使って感じよくやつておりましたから、あと

少し充実すれば大丈夫だと思うのですが、問題は駐車場なんですね。それと関連道路の問題もありますが、なによりも、県民一人一役といいますかいかに盛り上げてゆくかという点に、一生懸命になつております……。

栗本 本はそれでね。
知事 こ
新春好景

知事 四十五年は国体の予行演習であるインターハイもやらなければなりませんし、いよいよ全力をあげねばなりませんやり方を考え、選手強化にうまく利用されるといいですね。いそがしい

この表は、小学4年生の社会「県ちょうのおもな仕事」からつくりました。社会科の参考にしてください。

県のしごと

県では、皆さんのくらしをゆたかにし、住みよいきょう土にするために選きよでえらばれた知事さんが、たくさんの職員をつかって仕事をしています。

そして、これらの仕事をすすめるうえで大切なことがらを選きよでえらばれた46人の議員さんでつくられている県議会に相談したり、意見をきいたりしてきめています。

高速道路やバイパスなど、新しい道をつけたり、いたんだ道や、古い橋をおおしたり通りやすくします。また県営アパートなどの住宅建設や、公園などをつくる仕事もしています。

昭和46年には、和歌山県で、第26回国民体育大会が行なわれますが、その競技施設の整備や、選手の宿舎の準備、道路の整備をしています。また「新県民運動」として、「きれいにしよう」「親切にしよう」「たくましくきたえよう」「むだをなくそう」と呼びかけたり、「花いっぱい運動」などをおし進めています。

工場から出る悪いガスや、きつい水や、いやなにおいから皆さんを守るために、「公害パトロール車」を使って、いろいろな調査をしたり、工場やその他の施設に、公害防止の設備をするよう命令したりしています。

おそろしい交通事故から皆さんを守るために、歩道橋をつくりたり、信号機や道路ひょうしきをたてて交通整理をしたり、交通道德を教えて、交通事故をなくすために努力しています。

県では、紀ノ川のか口付近に和歌山港（北港・本港・南港）をつくりました。そのうちで北港では鉄材やいろいろな新しい品の積みおろしが行なわれ本港では、観光船や機はん船が出入りし、南港は近くに木材場を備えて木材港としての役目を果しています。海南港や下津港は、タンカーが出入りできる港になっています。紀南でも新富方に新しい港をつくる計画があります。

（工業）県の北部で、海に面した地いきに工場用地をつくり、新工場の建設をすすめたり、工業をさかんにするために、新しい機械を買うお金を出したりしています。また、工業試験場では、いろいろな研究をして、新しい技術の指導をしています。（農業）農業をさかんにするために、農業の技術を指導したり農業をもっとよくするためにお金を出したりしています。また、農業試験場や「ちく産試けん場」では、お米や野菜づくり、牛やブタのかいなどいろいろな研究をしています。そのほか、若い人たちが新しい農業について勉強する農業センターもつられています。（漁〈ぎょ〉業）新しい漁業をめざして、魚のすみかや「よう魚場」をつくりたりするのにお金を取り、「水産試験場」では、れいとうや加工のしかたの研究に力を入れるとともに、「きい丸」を使つて新しい漁場をつくり行なっています。

知事



県議会



県議会議員



県議会議場



副知事 出納長



県職員



副議長



県議会議場

県議会議員



県の仕事は、ほとんど国や市町村と関係をもっていますが、よりよい市町村にするために、国からお金をもらったり、直せつ県からお金をお出ししたりしておせわをしています。このほか「消防しょ」や「消防団」のおせわをしたり、また外国へ旅行する人のために、パスポート（りょけん）などを出したりする仕事もしています。

県をより住みよいきょう土にするため5年先、10年先の県のすがたを考え、道路や農林きよ業工業、住宅、水の利用など、これから和歌山県をどんなにしていくかを計画して、それによって、県の仕事をすすめています。

県では、不便な山村のために、お医者さんにまわってもらったり、新しい道や橋をつけたりするほか、マスやアルのよう魚や、シイタケのさいばいなどをすすめています。そして、その地いきに合つた工場をゆうちしたりして山村をゆたかにするための努力をしています。

失業している人に仕事をおせわしたり、働きたい人に仕事を教えたりしています。また、仕事をするための新しい技術を教える学校もつくっています。

病気で働けない人やいろいろなわけで生活にこまっている人にお金を出したりかしたりしています。また、みよりのない老人や目や耳やからだの不自由な人たちやめぐまれない子どもたちのし設をつくり、おせわしています。

青年や少年少女によい人にならうため青年の会や、こどもクラブ、こども会など、少年少女の会をつくり、おとうさんやおかさんたちにも、母親クラブや両親クラブをつくりもらっています。また、「ちびっこ広場」や「わからぬ広場」、児童会館や青少年の森などもつくれています。そして、私たちのまわりをまだまだよくするために、悪い映画や本をなくすように努力しています。

いして皆さんを結かくやでんせん病から守ったり、赤ちゃんのおせわなどもしています。また、たべものの衛生やカやハエのいない住みよいまちにするための指導もしています。

県では、皆さんの便利を願って県内各地に、現在107の出先機関をおいており、そこには3,710人の県しょく員が働いています。

左の図は、そのおもなものを図示したものです。

